地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和5年2月22日
北海道運輸局

評価対象事業名： 令和3年度　地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果					地方運輸局等における二次評価結果	備考
		③事業実施の適切性		④目標・効果の達成状況		⑤事業の今後の改善点	評価結果	
阿寒バス株式会社	運賃支払いの煩雑さ（区間運賃の確認が到着間際までできない、小銭の用意、走行中の両替の手間や車内事故、運賃支払いの不正等）の解消。	A	路線バス利用の際のキャッシュレス決済を可能とするWAON決済システム及び端末（12台）導入。	B	釧路市内路線、阿寒線、鶴居線を合わせた年間運送収入 約62,054千円の5%を目標とする。 4月：1.1%　5月：2.2% 6月：3.0%　7月：2.6% 8月：2.6%　9月：4.0% 10月：3.3%　11月：3.7% 5月（4月は準備月）からの利用率 平均：3.05%	年間の運送収入の5%を目標としたが結果目標には届かなかったが順調に伸びている感が見受けられる。 今後、イオン北海道と連携しキャンペーンを張って、WAON利用者を伸ばし、バス利用に繋げたい。	・自己評価のとおり、事業は適切に実施された。 ・設定した目標には届かなかったものの、利用率は伸びていることが見受けられることから、引き続き周知を強化し、利用者の増加につながることを期待する。	